

# 岩手大学大学院連合農学研究科 平成28年度研究インターンシップ報告会及び 研究科長裁量経費学生研究プロジェクト経費研究成果報告会

## 1 主 旨

(研究インターンシップ報告会)

岩手大学大学院連合農学研究科では、最先端の研究現場で、他機関の研究者や教員との意見交換や成果発表会での議論を通じて、課題探究能力、創造性豊かな研究能力、問題解決能力、表現能力等を身に付けることを目的として「研究インターンシップ」を授業科目として開講しております。

については、研修成果を発表し、今後の研究インターンシップの在り方に資するために、後期に研究インターンシップを終えた学生について報告会を開催いたします。

(学生研究プロジェクト経費研究成果報告会)

岩手大学大学院連合農学研究科では、博士課程学生にふさわしい研究立案能力および研究遂行能力を育成し、国際的な研究を行う能力をつけさせることを目的として、研究科長裁量経費に「学生研究プロジェクト経費」を設け、平成23年度から実施しています。

本年度は11名の学生が研究プロジェクト経費に採択され、研究を行ってきました。については、研究成果を発表し、来年度以降の学生研究プロジェクト経費の在り方に資するために報告会を開催いたします。

## 2 日 時：平成29年 4月 7日 (金)

研究インターンシップ報告会 14：30～

学生研究プロジェクト経費研究成果報告会 14：40～

(インターンシップ報告会終了次第)

## 3 場 所：帯広畜産大学総合研究棟 I号館 2F (E2503) 会議室

弘前大学農学生命科学部3階 SCS 室

岩手大学連合農学研究科棟 2階 遠隔講義室

山形大学農学部3号館3階 302 講義室

※多地点制御遠隔講義システムを使用します。

## 4 次 第：

(1) 開 会 司会：岩手大学連合農学研究科長補佐

(2) 開会挨拶 岩手大学大学院連合農学研究科長

(3) 研究インターンシップ報告 受講学生 (1名)

①大阪大学

生物機能開発学連合講座

大塚 玄航 (弘前大学)

主指導教員：西野 敦雄

※ パワーポイントを用い1人8分程度とし、その後2分程度の質疑応答を行います。

(4) 学生研究プロジェクト経費研究成果報告 採択学生 (11名)

①開 勇人 (寒冷圏生命システム学 熱・生命システム学 岩手大学)

研究課題：植物の新規の季節感知システムの探索

主指導教員：河村 幸男

- ②藤本 章晃 (生物生産科学 生物制御学 岩手大学)  
研究課題：トビケラ目昆虫染色体進化研究の基盤形成  
主指導教員：佐原 健
- ③熊谷 初美 (生物生産科学 植物生産学 岩手大学)  
研究課題：ハイブッシュブルーベリーの新梢生長、花芽形成および休眠特性の関係解明  
主指導教員：小森 貞男
- ④川越 雄太 (生物生産科学 動物生産学 岩手大学)  
研究課題：*Sirtuin 1 activator*を用いた高齢患者の卵子染色体異常改善の試み  
主指導教員：松原 和衛
- ⑤渡辺 連 (生物生産科学 動物生産学 山形大学)  
研究課題：哺乳類新生仔卵巣内オートファジー機構の解明による原始卵胞数の上方制御法の開発  
主指導教員：木村 直子
- ⑥Wambrauw Daniel Zdrak (生物生産科学 植物生産学 弘前大学)  
研究課題：グリーンアスパラガスの冬季伏せ込み促成栽培における補光処理が品質に及ぼす影響—フラボノイド生合成遺伝子の単離及び発現解析—  
主指導教員：前田 智雄
- ⑦ムラノ 千恵 (生物環境科学 地域環境管理学 弘前大学)  
研究課題：フクロウによるハタネズミ生息数抑制効果の検証  
主指導教員：東 信行
- ⑧小山 昂志 (生物資源科学 ゲノム工学 弘前大学)  
研究課題：線虫 LSU rRNA 前駆体のプロセッシングに寄与する CeR-2a RNA の機能モチーフの同定  
主指導教員：牛田 千里
- ⑨松村 美里 (生物生産科学 生物制御学 弘前大学)  
研究課題：広義プレオマッサリア科菌類の分類学的検討  
主指導教員：田中 和明
- ⑩Reshalaitihan Maimaiti (寒冷圏生命システム学 熱・生命システム学 帯広畜産大学)  
研究課題：周産期乳牛の飼料摂取量における妊娠と出産のストレスへの影響  
主指導教員：花田 正明
- ⑪石川 郁太郎 (生物環境科学 地域環境管理学 帯広畜産大学)  
研究課題：牛用駆虫剤エプリノメクチンが糞食性コガネムシ類の生存、繁殖および摂食活動に及ぼす影響  
主指導教員：岩佐 光啓

※ パワーポイントを用い1人8分程度とし、その後2分程度の質疑応答を行います。

(5) 閉 会

(English Abstract)

The Report Presentation for 2016 Research Internship and UGAS Student Research Project is conducted as indicated below.

Date and Time:

April 7, 2017 (Fri) 14:30-

Name of Speakers:

(Research Internship)

①OTSUKA, Haruhiro (Bioprocess Engineering Science, Hirosaki)

(Research Project)

①HIRAKI, Hayato (Cryobiosystems Science, Thermo-Byosystem Relations, Iwate)

Project: Finding Novel Season Sensing System in Plant

②FUJIMOTO, Toshiaki (Bioproduction Science, Biocontrol and Bioenvironmental Science, Iwate)

Project: Basic research for chromosome evolution in trichopteran insects

③KUMAGAI, Hatsumi (Bioproduction Science, Plant Production, Iwate)

Project: Relationship between shoot growth, flower bud formation and bud dormancy in highbush blueberry

④KAWAGOE, Yuta (Bioproduction Science, Animal Production, Iwate)

Project: Improvement of chromosome aneuploidy of aging oocyte by using Sirtuin 1 activator

⑤WATANABE, Ren (Bioproduction Science, Animal Production, Yamagata)

Project: Study of the autophagy in mammalian neonatal ovary and upregulation of the primordial follicles reservation

⑥WAMBRAUW, Daniel Zdrak (Bioproduction Science, Plant Production, Hirosaki)

Project: Effects of Supplemental Lighting on the Quality of Green Asparagus Cultivated by Winter 'Fusekomi' Forcing Culture~ Basic Gene Expression Analysis on the Relationship between Light Exposer and Flavonoid Biosynthesis in Asparagus ~

⑦MURANO, Chie (Biotic Environmental Science, Environmental Resource Management, Hirosaki)

Project: Can owl control the vole population in apple orchard?

⑧KOYAMA, Takashi (Bioresources Science, Functional Genomics and Biotechnology, Hirosaki)

Project: Identification of functional motifs of CeR-2a RNA which contributes to the LSU rRNA processing

⑨MATSUMURA, Misato (Bioproduction Science, Biocontrol and Bioenvironmental Sciences, Hirosaki)

Project: Taxonomic study of *Pleomassariaceae sensu lato*.

⑩RESHALAITIHAN Maimaiti (Cryobiosystems Science, Thermo-Byosystem Relations, Obihiro)

Project: Effect of pregnant and calving stress on feed intake in transition dairy cows

⑪ISHIKAWA, Ikutaro (Biotic Environmental Science, Environmental Resource Management, Obihiro)

Project: Effects of the antiparasitic drug, ivermectin and eprinomectin on the survival, reproduction and feeding activity of the dung beetles in Japan